

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587068901	科目番号 / Course code	05870689
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a1思想からみた九州 / Kyushu's Perspective from History of Idea		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森 元斎		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	森 元斎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	森 元斎		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	motonaomori ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	motonaomori ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近代以降の九州、とりわけ現在の国道3号線沿い周辺域で生じた出来事を、民衆の視線で取り上げ、近代化の流れへの抵抗や、近代的なものからの暴力がどのようになされてきたのかを論じ、民衆がどのようにして生きてきたのかを明らかにします。これに加えて、九州に住む現在の私たちの歴史を学ぶことも目的とします。		
授業到達目標/Course goals	近代以降の九州の民衆が、どのように近代化の時流に対応したのかを理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義期間中に提出する小課題(40%)と定期試験(60%)の合計		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】 次回講義のキーワードを提示するので、キーワードに関する内容を各自、文献、Web等で調べておくこと。(2h) 【復習】 講義資料を復習すると共に、講義時のレポート課題に関して、講義資料で紹介されたHPや文献で理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	国道3号線、米騒動、炭鉱、水俣、西南戦争、近代化		
教科書・教材・参考書/Materials	森元斎『国道3号線 抵抗の民衆史』共和国、2020		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	関連する書籍などを読むことが望ましいです。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。 指定した教科書から課題を出しますので、手元にあることが望ましいです。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	ガイダンス：九州の近代化と国道3号線 九州と世界
2回	北部九州の近代化 アジアとのつながり
3回	門司港の米騒動 第一次世界大戦
4回	炭鉱の米騒動 軍部と民衆
5回	サークル村の磁場 上野英信
6回	サークル村の磁場 谷川雁
7回	サークル村の磁場 森崎和江
8回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文（1）
9回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文（2）
10回	戦争と詩 丸山豊
11回	山鹿コミュニケーション ルソーの思想とコミュニケーション
12回	宮崎滔天のアジア
13回	水俣病 医学者としての原田正純
14回	水俣病 世界文学としての石牟礼道子
15回	西南戦争と近代化
16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593006901	科目番号 / Course code	05930069
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	【Online】●a1アジア諸文化間の接触・衝突～日朝関係の近代史～ / Contact and conflict between Asian cultures : History of modern Korea-Japan relations		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	姉川 雄大, 韓 梨恵 / Han Rie		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	姉川 雄大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	姉川 雄大, 韓 梨恵 / Han Rie		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	anegawa_nagasaki-u.ac.jp 連絡の際には を@に。		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟12階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでアポイントをとること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	多文化状況を考える際には、異文化間の接触のさいに生じる矛盾や葛藤に目を向けなければならない。特にここ長崎からこの問題を考えるばあい、日本の近代化とその過程における朝鮮半島との関係を学ぶことは、基本的で必須のテーマとなる。そこでこの授業では、近代日朝関係史を学ぶことによって、日本の朝鮮侵略が近現代朝鮮半島の社会や文化の形成にいかなる影響を与えたかを概観する。受講生は授業をとおして、朝鮮史や日朝関係史の基本的な史実を知るにとどまらず、朝鮮史と向き合うための視座を獲得することが求められる。		
授業到達目標/Course goals	受講生は、史実を適切におりまぜながら、朝鮮史や日朝関係史を考える意義について説明できるようになることを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・期末レポート：50% ・リアクションペーパー：40% ・平常点(=予習復習)：10%(リアベをとおして、予習しているかどうかを測る)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：シラバス記載の参考文献やその他授業内で紹介した資料に目を通したうえで、講義にのぞむこと(2h)。 復習：授業で配布した資料や授業内で紹介した資料を読み、理解を深めること(2h)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	参考文献は以下のとおりである。 朝鮮史研究会編『朝鮮の歴史』三省堂、1995年。 吉野誠『東アジア史のなかの日本と朝鮮—古代から近代まで—』明石書店、2004年。 金聖甫他『写真と絵で見る北朝鮮現代史』コモンズ、2010年。 趙景達編『植民地朝鮮—その現実と解放への道—』東京堂書店、2011年。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	授業実施方法：対面（5回）およびオンライン（10回：オンデマンド方式） この授業は、2名の授業担当者による対面授業とオンライン授業の組み合わせで実施する。そのため、授業実施日時も不規則になり、課題の有無・内容・提出方法も変化するため、シラバスで実施日時を確認するとともにLACSでのお知らせに十分注意してほしい。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4月19日）	授業全体のイントロダクション（担当：姉川、授業方法：対面）
第2回（4月19日）	多文化状況を考えることとは、またグローバルヘルスについて（担当：姉川、授業方法：対面）
第3回（4月19日）	朝鮮の地理と文化（担当：韓、授業方法：オンデマンド方式のオンライン授業）
第4回（4月19日）	朝鮮王朝期の朝鮮社会と文化（担当：韓、授業方法：オンデマンド方式のオンライン授業）
第5回（4月26日）	近世～近代における日朝関係史（担当：韓、授業方法：オンデマンド方式のオンライン授業）
第6回（4月26日）	朝鮮の近代と植民地化（担当：韓、授業方法：オンデマンド方式のオンライン授業）
第7回（5月10日）	植民地朝鮮における社会と文化（1）（担当：韓、授業方法：オンデマンド方式のオンライン授業）
第8回（5月10日）	植民地朝鮮における社会と文化（2）（担当：韓、授業方法：オンデマンド方式のオンライン授業）
第9回（5月17日）	植民地朝鮮における社会と文化（3）（担当：韓、授業方法：オンデマンド方式のオンライン授業）
第10回（5月17日）	朝鮮の「解放」と分断（担当：韓、授業方法：オンデマンド方式のオンライン授業）
第11回（5月24日）	在日朝鮮人社会の形成（1）（担当：韓、授業方法：オンデマンド方式のオンライン授業）
第12回（5月24日）	在日朝鮮人社会の形成（2）（担当：韓、授業方法：オンデマンド方式のオンライン授業）
第13回（5月24日）	帝国主義と文化を考えること（担当：姉川、授業方法：対面）
第14回（6月7日）	植民地「以後」と文化を考えること（担当：姉川、授業方法：対面）
第15回（6月7日）	授業のまとめ（担当：姉川、授業方法：対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593005901	科目番号 / Course code	05930059
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●a2欧州に学ぶ多文化と教育 / Education in Multicultural Society ; Case Study of Europe		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	福田 紗耶香, 細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	福田 紗耶香		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	福田 紗耶香		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fukuda.sayaka▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	Eメールでアポイントを取ってください。		
担当教員TEL/Tel	fukuda.sayaka▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	20世紀後半以降社会の急激な多様化に向き合ってきたヨーロッパ諸国と、多様化の課題が浮かび上がりつつある日本を比較しながら、多文化社会における教育課題と現状について紹介します。事例やデータから多文化社会において教育の不平等がどのように表出しているか学ぶことで、教育の「あたり前」を問い直し、多様な人々が共に生きていくために必要な視座を身につけましょう。		
授業到達目標/Course goals	(1) 教育社会学に関する基礎的知識を習得する。 (2) 欧州諸国における教育課題と対応策について具体的に述べることができる。 (3) 多文化社会の教育課題について調べ、前提を問い直し、自らの考えを発信できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加(コメントカードの内容、小テストスコア)50点、グループ発表20点、最終試験30点の計100点で評価する。 なお、6回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。 出欠状況は、出席管理システム(教室のICカードリーダー)を通じて確認する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: LACSにアップロードする資料を読み、配布する予習ワークシートに自分の考えを書き込む。グループ発表、小テスト、最終試験があるため、予めしっかりと予習時間を確保し予習や発表準備等に取り組むこと。(3h) 復習: 分からなかった単語や事象を授業後に自分で調べるようにすること。(1h)		
キーワード/Keywords	多文化社会、欧州、移民、教育格差、地域研究		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はない。毎回、予習のための教材を指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業はすべて対面で行い、原則として全回に出席することが受講条件です。
学生へのメッセージ/Message for students	（１）グループワーク活動に積極的に参加できることが受講の条件です。よって毎回の出席が必須です。 （２）授業中に演習を多く行いますので常日頃から異文化に接したり関心を持っていることも重要です。 （３）まわりの人たちの学習のさまたげにならないよう、私語や携帯電話、スマートフォンなどの使用はひかえてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	イントロダクション、データから見えてくる世界の教育
第3-4回	日本の教育における国際化の現状と課題
第5-6回	イングランドにおける学力保障の現状と課題
第7-8回	フランスにおける学力保障の現状と課題
第9-10回	ドイツにおける学力保障の現状と課題
第11-12回	オランダにおける学力保障の現状と課題
第13-14回	グループ研究発表
第15回	グループ研究発表、まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593006101	科目番号 / Course code	05930061
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a2東南アジアから学ぶ多文化共生 / Diversity, Unity, and Creativity in Southeast Asia		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	細田 尚美 / Hosoda Naomi, 福田 紗耶香		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hosoda▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL/Tel	hosoda▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバル化の時代、さまざまな国、文化、宗教の人たちとともに働き、暮らす方法を模索しているのは日本だけではない。この授業では、多様な文化的背景を持つ人々と共存する方法を試みてきた東南アジアの国々を紹介する。東南アジア島しょ部の国々(マレーシア、インドネシア、フィリピン、シンガポール)を中心とした具体的な事例を通じて、多文化共生にはいくつもの方法があることを学び、将来に向けて私たちはどのような多文化共生の方法を選びとるべきかについて議論する。授業では、グループワークやゲストスピーカーとのQ&Aなどのアクティブラーニングを毎週行う予定。		
授業到達目標/Course goals	(1) グローバリゼーション時代の東南アジアに関する知識を習得する。 (2) 多文化が共存する社会の政策や現実について具体的に述べることができる。 (3) 東南アジアの魅力について自分で調べ、発信できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加(毎回の授業中の積極的な態度や課題への取り組み、コメントカードの内容)50点、授業中に行う小テストやグループワークの結果20点、最終試験(あるいは最終レポート)30点の計100点で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: LACSにある資料を読み、自分の考えをまとめ、質問を準備する。グループ発表、小テスト、最終試験があるため、予めしっかりと予習時間を確保し予習や発表準備等に取り組むこと。(3h) 復習: 分からなかった単語や事象を授業後に自分で調べて理解すること。(1h)		
キーワード/Keywords	多様性、グローバル化、若者、アイデンティティ、日本とのつながり		
教科書・教材・参考書/Materials	『はじめての東南アジア政治』(有斐閣、2018)ほか。 予習として読むべき文章や視聴すべき動画は授業の前にLACSで適宜、指示をします。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業はすべて対面で行い、全回に出席することが受講条件です。
学生へのメッセージ/Message for students	東南アジアの人たちは多文化状況をいかに生きるかを模索し経験を積み重ねてきました。そこで長年培われてきた知恵を学びましょう。授業ではグループワークなどのアクティブラーニングを頻繁に行うため、全回、積極的に参加できることがこの授業の受講条件です。また、第1週目から小テストを行いますので、予習をしてきてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	授業の概要、東南アジアを学ぶ意義
第3-4回	混成社会の日常風景とその背景
第5-6回	多民族・多宗教国家で行われている共存のための方法
第7-8回	経済成長と若者：インドネシアから世界へ
第9-10回	「混血」と国民意識、海外移住
第11-12回	東南アジアと日本の関係
第13-14回	グループによるプレゼンテーション
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587038101	科目番号 / Course code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Course title	● a3芸術 / Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加納 暁子 / Kanou Akiko, 金原 雅樹 / Kanahara Masaki, 宮崎 友理子 / Miyazaki Yuriko, 中川 泰 / Nakagawa Tooru, 菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	加納 暁子 / Kanou Akiko, 金原 雅樹 / Kanahara Masaki, 宮崎 友理子 / Miyazaki Yuriko, 中川 泰 / Nakagawa Tooru, 菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakagawa▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください) kankan▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください) k-akiko▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部美術技術棟2階(中川・菅野) 教育学部音楽棟3階(加納)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2351(中川) 095-819-2352(菅野) 095-819-2346(加納)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで事前に問い合わせること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	美術における喜びや感動を感じる。 感じたことを表現する喜びを学ぶ。 音楽では美術との関連や、芸術表現と人間との関わりについて考える。		
授業到達目標/Course goals	美術及び音楽の魅力を説明できる。 自由な発想と多様な表現方法を獲得する。 自らを日常的な縛りから開放させることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提出物(作品やレポート等)60%、受講の姿勢(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 予告される授業の内容について自主的に書籍、新聞、インターネット、新聞を見て調べ ること(2h) 事後学習: 授業で行ったことをまとめておくことと、それに関連する本や資料等を各自で読んでお くこと(2h)		
キーワード/Keywords	美術・工芸・音楽		
教科書・教材・参考書/Materials	授業内で指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	実技を含みます。対面授業が出来ない場合は、オンライン(リアルタイム・オンデマンド)で行い ます。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業は一部オンラインで実施します。詳細は授業時やLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	授業に対して真面目に取り組むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	工芸 今まで習ってきた美術・工芸について（対面）：担当 菅野 弘之
第2回	工芸 身の周りの表現について（対面）：担当 菅野 弘之
第3回	美術・工芸 どこに工夫があるか。探してみよう。（制作または鑑賞）（対面）：担当 菅野 弘之
第4回	美術・工芸 どう表現しているか。トライしてみよう。（制作または鑑賞）（対面）：担当 菅野 弘之
第5回	音楽と美術の関連（対面）：担当 加納 暁子
第6回	音楽と美術の関連（又は演奏表現）（対面）：担当 加納 暁子
第7回	音楽と映像（オンライン（オンデマンド））：担当 加納 暁子
第8回	音楽と映像（又は演奏表現）（オンライン（オンデマンド））：担当 加納 暁子
第9回	美術の魅力を求めて（私が携わってきた仕事の経験）（対面）：担当 金原 雅樹
第10回	美術の魅力を求めて（アートボランティア活動と体験談）（対面）：担当 金原 雅樹
第11回	美術館を巡る（アートイベントやワークショップの企画とは）（対面）：担当 宮崎 友理子
第12回	美術館を巡る（クリエイティブな発想力を学ぼう）（対面）：担当 宮崎 友理子
第13回	美術教育の意義と役割について（対面）：対面 中川 泰
第14回	岩井俊二の映像作品を鑑賞する（対面）：対面 中川 泰
第15回	まとめ（なぜ美術なのか、いかに美術なのか）（対面）：対面 中川 泰

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587040901	科目番号 / Course code	05870409
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12561_005		
授業科目名 / Course title	● a3美術 / Fine Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	兼原 啓二 / Kanehara Keiji, 加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	兼原 啓二 / Kanehara Keiji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	兼原 啓二 / Kanehara Keiji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k_kanehara▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	美術・技術棟 彫刻実数室		
担当教員TEL/Tel	0 9 5 - 8 1 9 - 2 3 4 9		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	造形活動では、構成力の基礎的な表現力を必要とします。造形感覚を磨くとともにレリーフ表現方法を養います。ここでは、木を素材とした表現を通して、刃物の使用方法を体得し空間把握を意識しながら形としていくことを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	1 技法及び道具の使い方などの基本的な知識や技術を身につけることができるようになる。 2 立体を把握し、造形的意義を理解している。 3 自分で課題を見つけることができるようになる。 4 自分の課題を解決できるようになる。 5 表現を通して美術文化を理解している。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組みと意欲(20点) + 振り返りと自己課題内容(20点) + 作品制作(40点) + ポートフォリオ課題(20点) = 合計100点のうち60点以上を合格点とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	本時の振り返りと次回の課題内容を求めます。 本日行ったことについて、配布資料を見直ししながらできたところとできなかったところはどこかを把握しておくこと。(2h) 次週までに自分の課題についてどのようにすればよいのか解決策を考える。(2h)		
キーワード/Keywords	木彫、空間把握、制作手段		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じてプリントを配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp"	
備考/Remarks	対面での授業としますが、状況によっては変更する場合があります。その場合は、LACSで連絡します。	
学生へのメッセージ/Message for students	出席とやる気が作品の良し悪しに関わってきます。休まないで受講しましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	N	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション、彫刻(木工)の概要(表現内容と素材、その関係と見方について)木の概要(種類、特性、工具の扱い方):【対面】	A
第2回	木彫レリーフ(バラ)の制作(準備と下描き):【対面】	A C D
第3回	木彫レリーフ(バラ)の制作(荒彫り)印刀の使い方:【対面】	A C D
第4回	木彫レリーフ(バラ)の制作(荒彫り)輪郭線に切り込みを入れる:【対面】	A C D
第5回	木彫レリーフ(バラ)の制作(荒彫り)輪郭線に切り込みを入れる:【対面】	A C D
第6回	木彫レリーフ(バラ)の制作(荒彫り)深くバックを彫る:【対面】	A C D
第7回	木彫レリーフ(バラ)の制作(荒彫り)2mmの深さまでバックを彫る:【対面】	A C D
第8回	木彫レリーフ(バラ)の制作(荒彫り)バックを滑らかにする:【対面】	A C D
第9回	木彫レリーフ(バラ)の制作(仕上げ彫り)凹凸の表現方法:【対面】	A C D
第10回	木彫レリーフ(バラ)の制作(仕上げ彫り)葉の表現方法:【対面】	A C D
第11回	木彫レリーフ(バラ)の制作(仕上げ彫り)葉に丸みをつける:【対面】	A C D
第12回	木彫レリーフ(バラ)の制作(仕上げ彫り)茎の表現方法:【対面】	A C D
第13回	木彫レリーフ(バラ)の制作(仕上げ彫り)花の表現方法:【対面】	A C D
第14回	木彫レリーフ(バラ)の制作(仕上げ彫り)花を仕上げる:【対面】	A C D
第15回	作品の講評及び評価、ポートフォリオの作成:【対面】	A D

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587037701	科目番号 / Course code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Course title	● a4身のまわりの科学 / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大庭 伸也 / Shinya Oba, 星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大庭 伸也 / Shinya Oba		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大庭 伸也 / Shinya Oba		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水 2, 3, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ooba▲nagasaki-uac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館412号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日6校時、研究室にて		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々ヒトを含む動物が地球上に誕生してから現在に至るまでのプロセスを理解する。また、動物の多様な種類、形態、行動、生活史、生態が如何にして形作られてきたのか、身近に起こりつつ外来種問題の是非について考えていきます。		
授業到達目標/Course goals	文系理系問わず進化的な視点で、ヒトを含む動物を理解し、生物多様性や地域固有の自然への理解が重要である(DP2、4、6に対応)。その保全の必要性を、他者と協働しながら調べて議論し、自分の言葉で説明できるようになる(DP1、5に対応)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の取り組み(レポート)により、評価する。 3分の1以上欠席で自動的に失格とする。 2回の遅刻 = 1回の欠席とカウント。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回の授業テーマについて、ネットのみならず、図書館などを活用して自分で深く調べること。(2時間) 授業資料の確認やそれに関連する資料の閲覧により、知識の定着、科学的思考力を醸成すること。(2時間)		
キーワード/Keywords	地域固有の生態系、感染症、保全、外来種問題、生態学、行動学		
教科書・教材・参考書/Materials	毎回プリントを配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	科学(生物学)への興味関心を持つこと		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的等の配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則的に対面で実施する
学生へのメッセージ/Message for students	わたしたちヒトと、長崎という自然について考えてみましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	N
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～2回	ガイダンス 生物とは何か？（グループワークと発表・評価）
第3～4回	生物多様性はなぜ必要（グループワークと発表・評価）
第5～6回	生物多様性と感染症（グループワークと発表・評価）
第7～10回	長崎における科学／生物学（長崎県内の博物館・科学館の見学を通じた学習） 授業期間内に見学・情報収集をしてもらいます（入館料等は各自ご負担ください）。
第11～12回	長崎における科学／生物学（学習内容の発表と共有）
第13～14回	身近な外来種（グループワークと発表・評価）
第15～16回	ヒトという動物（グループワークと発表・評価） 授業のまとめ

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587038501	科目番号 / Course code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Course title	● a4環境と社会 / Environment and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 横尾 美智代 / Michiyo Yokoo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 横尾 美智代 / Michiyo Yokoo		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino▲nagasaki-u.ac.jp(星野)(メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部4階 415研究室(星野)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332(星野)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日以外の昼休み12:10~12:40(星野)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え、具体例として環境要因がどのように環境や人間等に影響を与えているのかを学習する。また、ドイツおよびネパール等諸外国の環境と社会との関わりを多角的に調べ、日本の環境と社会との関わりのあるべき姿を探る。長崎県の環境に関する課題も取り上げ、対策・施策について理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1. 現代社会の中で環境要因がどのように自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えているかを調べることができる。 2. 自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えている環境要因が何か。また、どのような影響を与えているかを説明することができる。 3. 影響を与えている環境要因に対して社会がどのように対処していけばよいのか。環境と社会との関わりのあるべき姿について根拠を示して自らの意見を述べるすることができる。 4. 長崎県の抱える環境に関する課題について例を挙げて説明することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	評価は、授業時演習プリント(10%)、課題レポート(10%)、班で作成する小テスト(20%)、プレゼンテーション(10%、相互評価を含む)及び定期考査(50%)で行う。合格基準は、これらを総合した60%以上とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	環境問題に関する新聞記事を日頃から気にかけて読んでおくこと。新聞は、図書館で閲覧できる。また、図書館のデータベースで記事検索もできるので、活用すること。 【予習】テーマについて学習事項とその内容を調べておくこと。担当班はパワーポイントのスライド作成を行っておくこと。(2h) 【復習】テーマについての学習事項に関する小テスト問題の作成を通じて復習しておくこと。(2h)		
キーワード/Keywords	環境基本法、環境基準、ドイツの環境事情、ネパールの環境事情、長崎県の環境課題		

教科書・教材・参考書/Materials	参考書１：谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会 参考書２：及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 くらしの安全科学」共立出版 参考資料：新聞各紙（データベース）	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は、ほぼすべての授業回（１４回）で対面とリアルタイムオンライン（感染症罹患対象）のハイフレックス形式で行います。テーマと班決めの回だけは、対面のみで行いますので、必ず出席してください。各授業日に感染症罹患などにより出席できない場合は、必ず事前（授業日の午前11時まで）にメール連絡してください。	
学生へのメッセージ/Message for students	他の班のプレゼンテーションにおいても、積極的に質問、意見を述べること。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーションとイントロダクション。授業内で演習プリント１（日本の公害・長崎の公害）を課す。受講者自らが興味を持つ、環境問題を挙げる課題（事項と内容）プリント１を課す。（対面）：担当 星野 由雅	A
第2回	環境法規（長崎県の環境基本計画を含む）とドイツの環境事情について、プレゼンを行う。授業内で演習プリント２を課す。ネパール国についての課題プリント２を課す。（対面）：担当 星野 由雅	A
第3回	ドイツ及びネパールの環境事情について、プレゼンを行う。授業内で授業内容に関わる演習プリント３を課す。課題プリント３を課す。対面：担当 横尾 美智代	A
第4回	本授業で取り上げる10個の環境問題に関するテーマを選定する。テーマごとに班を編成する。班ごとのプレゼンテーションの発表日を決める。（対面）：担当 星野 由雅	B
第5回	テーマ１,たとえば「地球温暖化」について1班全員が一人ずつプレゼンを行う。他の班は1班のプレゼンの評価を行う。1班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ１について,小テスト問題（A4で１枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ１に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。（対面）：担当 星野 由雅	B
第6回	テーマ２,たとえば「生態系保護」について2班全員が一人ずつプレゼンを行う。他の班は2班のプレゼンの評価を行う。2班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ２について,小テスト問題（A4で１枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ２に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。（対面）：担当 星野 由雅	B
第7回	テーマ３,たとえば「大気汚染」について3班全員が一人ずつプレゼンを行う。他の班は3班のプレゼンの評価を行う。3班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ３について,小テスト問題（A4で１枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ３に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。（対面）：担当 星野 由雅	B
第8回	テーマ４,たとえば「水資源・水質汚濁」について4班全員が一人ずつプレゼンを行う。他の班は4班のプレゼンの評価を行う。4班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ４について,小テスト問題（A4で１枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ４に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。（対面）：担当 星野 由雅	B

第9回	テーマ5,たとえば「エネルギー問題」について5班全員が一人ずつプレゼンを行う。他の班は5班のプレゼンの評価を行う。5班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ5について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ5に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。(対面):担当 星野	B
第10回	テーマ6,たとえば「感染症と社会」について6班全員が一人ずつプレゼンを行う。他の班は6班のプレゼンの評価を行う。6班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ6について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ6に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。(対面):担当 星野 由雅	B
第11回	テーマ7,たとえば「放射線と原子力発電」について7班全員が一人ずつプレゼンを行う。他の班は7班のプレゼンの評価を行う。7班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ7について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ7に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。(対面):担当 星野 由雅	A
第12回	テーマ8,たとえば「気候変動,地球温暖化」について8班全員が一人ずつプレゼンを行う。他の班は8班のプレゼンの評価を行う。8班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ8について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ8に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。(対面):担当 星野 由雅	A B
第13回	テーマ9,たとえば「マイクロプラスチック」について9班全員が一人ずつプレゼンを行う。他の班は9班のプレゼンの評価を行う。9班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ9について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ9に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。(対面):担当 星野 由雅	A B
第14回	テーマ10,たとえば「化学物質汚染」について10班全員が一人ずつプレゼンを行う。他の班は10班のプレゼンの評価を行う。10班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ10について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ10に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。(対面):担当 星野 由雅	A B
第15回	テーマ1~テーマ10までのテーマについて,各班で補足のプレゼンテーションを行い,質問,意見を受ける。(対面):担当 星野 由雅	A B D
第16回	定期試験(対面):担当 星野 由雅	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593000101	科目番号 / Course code	05930001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a5統計解析の初歩 / Introductory statistics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部、教育学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shikimi▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部(片淵キャンパス)・東南アジア研究所214		
担当教員TEL/Tel	shikimi▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日10:30~12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初等的な統計的手法を説明する。		
授業到達目標/Course goals	社会・経済データを読み解く力を涵養することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験80%、授業への主体的参加(質問や議論)20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 前回までの講義内容を振り返ることにより現在位置を確認し、次回の講義内容がスムーズに理解できるように準備しておく(2h)。 復習: 講義内容を整理し理解を深める(2h)。		
キーワード/Keywords	統計分析		
教科書・教材・参考書/Materials	指定なし		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	講義は対面で実施します		
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用） / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	母集団，データの種類，データの整理とグラフ化
第2回	中心の指標－算術平均
第3回	中心の指標－メディアン，最頻値，その他の平均
第4回	ばらつきの指標－範囲，分位点，四分位範囲
第5回	ばらつきの指標－平均絶対偏差，分差，標準偏差
第6回	ばらつきの指標－標準化，Chebyshevの不等式，変動係数
第7回	ばらつきの指標－Lorentz曲線とGini係数，練習問題
第8回	練習問題
第9回	関連を探る－分割表
第10回	関連を探る－散布図，相関係数（1）
第11回	関連を探る－散布図，相関係数（2）
第12回	直線を当てはめる－最小2乗法
第13回	直線を当てはめる－回帰直線の性質，決定係数
第14回	練習問題
第15回	練習問題
第16回	期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593000301	科目番号 / Course code	05930003
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a5企業活動と戦略 / Corporate Activity and Strategy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高井 計吾, 式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高井 計吾		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高井 計吾		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kegotak▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館525		
担当教員TEL/Tel	kegotak▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントメントを取った日時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバルな環境変化の中、企業は目的達成のために日々重要な意思決定を行っている。その意思決定の指針となる要素が戦略であり、戦略論を踏まえた深い洞察なしでは、企業の成長・発展は不可能である。本講義では、戦略論を幅広い観点から捉え、理論と実証の両視点から企業の行動を多面的に理解することを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。本講義は次のDPを授業到達目標としています。 DP-5: 各コースの到達目標を達成している。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	複数回の小テスト+授業への取り組み(30点)+期末レポート(70点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 各講義開始前に配布する資料に目を通しておいください。(2h) 復習: 講義資料を再読し、理解を深めるようにしてください。(2h)		
キーワード/Keywords	経営戦略、競争、多角化、ネットワーク		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: [ISBN]9784492522035 『競争戦略論』(青島 矢一, 加藤 俊彦, 東洋経済新報社: 2012)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	原則として対面で実施
学生へのメッセージ/Message for students	「なぜ」「どのように」という「理屈」を突き詰めることは、経営学に限らずすべての学問分野に共通する大切な考え方です。その一方で、経営学の理屈では説明できない出来事も世の中にはたくさんあります。「理屈」と「世の中」のどちらか一方に留まることなく、2つの世界を自由に行き来できるような柔軟な視点を身につけてもらいたいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 イン트로ダクション 講義第1回は本講義の全体的な内容ならびに進め方、成績評価方法などの概要を説明します。
第2回	第2回 経営戦略の基礎 なぜ、ある企業が利益を上げ、別の企業は利益が上がらないのか。その違いを説明する要素として「戦略」があげられます。講義第2回は経営戦略を学習する前提として、戦略の分類軸、戦略の階層性（事業戦略—全社戦略）など戦略論において基礎的な概念を学修します。
第3回	第3回 事業戦略 ポジショニング・アプローチ 企業が属する業界、産業によって、企業の「儲かる」と「儲からない」は大きく違ってきます。講義第3回は企業と外部環境、さらに産業の収益性に影響を及ぼす要因にはどのようなものがあるのかを説明します。
第4回	第4回 事業戦略 資源アプローチ 世の中には「他社には真似のできない強み」を駆使して利益をあげている企業が多くあります。講義第4回は、競争優位をもたらす経営資源はどのようなものかについて学修します。
第5回	第5回 事業戦略 ゲーム・アプローチ 原材料の段階から組み立て、小売にいたる製品プロセスには多くの企業が関わり、それぞれが「価値」を付け加えています。講義第5回は、企業活動における価値の創造と配分の相互作用をゲームとして捉え、ゲーム構造とその変化を通じて企業活動がどのように分析できるのかについて学修します。
第6回	第6回 事業戦略 学習アプローチ 人間と同じように、企業も知識や能力を身につけ、自社の強みとして活用しています。講義第6回は、学習を通じて、企業が活動していく上で必要な知識・能力を蓄積してゆくのかについて学修します。
第7回	第7回 事業戦略 経験曲線効果と一般戦略 同じ業界、産業に属する企業であっても、自社の何を強みとするかによって、取りうる戦略は大きく違ってきます。講義第7回は、市場シェアを中心に戦略を考えた場合、企業が取りうる戦略にはどのようなものがあるのか説明します。
第8回	第8回 全社戦略 全社戦略とシナジー 事業戦略とは別に全社戦略を考えなければいけないのは、事業間にシナジーという現象が作用するからです。講義第8回は、企業が抱える複数の事業間で経営資源や活動を共有することで、どのような効果が生まれるのかについて学修します。
第9回	第9回 全社戦略 多角化 企業は時として、それまでとは異なる新たな事業分野に進出し、さらなる成長を模索することがあります。講義第9回は、企業がなぜ既存事業の枠を超えて拡大を目指すのか、またその手法にはどのようなものがあるのかを学修します。
第10回	第10回 全社戦略 垂直統合 企業活動における各プロセスは、企業内部、企業外部のいずれかにおいて実行され、各プロセスの調整手段として、外注と内製があります。講義第10回は、このような企業の取引関係の構造を、市場と組織の観点から説明します。
第11回	第11回 戦略とビジネスモデル ポジショニングや経営資源などの経営戦略の枠組みを応用し、さらに「だれに」「なにを」「どのように」提供するのかを包括的な仕組みとして「ビジネスモデル」という考え方があります。講義第11回は、代表的なビジネスモデルを取り上げ、それがどのような仕組みで利益を生み出しているのかを学修します。
第12回	第12回 ベンチャー企業の経営戦略 経営資源が限られているベンチャー企業は、大企業と比較して経営戦略の面で不利な点を抱えている一方、独自の強みを有している企業も多くあります。講義第12回は、ベンチャー企業の経営戦略における独自性、大企業との関わりなどについて学修します。

第13回	第13回 企業提携と戦略 企業は様々な理由で、他の企業と手を組んで事業を行っています。講義第13回は、企業が提携関係を構築する理由、そして提携がもたらす効果、さらには提携相手を選択する上での注意点などを説明します。
第14回	第14回 企業ネットワークと戦略 第13回の「提携」をさらにマクロな視点から分析する枠組みとして近年、企業が構築するネットワークに光を当てる試みが注目されています。講義第14回は、社会のつながりの中で生まれる強みや行動を、ネットワーク上の位置や構造で考える「ネットワーク理論」を紹介し、その戦略的応用について考えます。
第15回	第15回 これまでの講義まとめ 企業の戦略とそのアプローチ手法、さらには提携戦略やネットワークなど、ミクロからマクロまで経営戦略を幅広く扱ってきたこれまでの講義内容の要点をまとめます。

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593000501	科目番号 / Course code	05930005
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a6経済学 / Economics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	島田 章 / Shimada Akira		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	対象学部: 多文化社会、教育、薬、水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	連絡先: shimada▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階501		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了直後の20分程度		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	市場経済においても、政府は重要な役割をもっている。市場経済の機能と限界を概観し、市場経済において政府や中央銀行がどのような役割を果たせるかをマクロ経済学的な視点から学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	市場の価格調整メカニズム、市場経済の機能と限界、市場経済における政府や中央銀行の役割を主体的に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ■ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	まとめ(試験またはレポートを含む) 100%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 教科書を読んでわからない用語の意味を調べてください。(2h) 事後学習: 授業でとったノート教科書を読みながら整理してください。また関連する統計も見てください。(2h)		
キーワード/Keywords	市場の価格調整メカニズム、政府の役割、中央銀行の役割		
教科書・教材・参考書/Materials	中谷武・中村保[編著]『1からの経済学』発売元・中央経済社、2010年		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。		
備考/Remarks	日本政府の統計 https://www.e-stat.go.jp/ 対面		

学生へのメッセージ/Message for students	連絡することがあれば、上記の担当教員メールアドレス宛にメールを送ってください。メールの件名に、令和6年度モジュール「a6経済学」受講者の誰々（氏名）、何学部（学部名）、何番（学生番号）で用件は何々（例えば質問）、などを書いてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、経済学とわたしたち
第2回	需要と供給、価格メカニズム(1)
第3回	需要と供給、価格メカニズム(2)
第4回	市場の限界(1)
第5回	市場の限界(2)
第6回	市場の限界(3)
第7回	マクロ経済分析の基礎(1)
第8回	マクロ経済分析の基礎(2)
第9回	マクロ経済分析の基礎(3)
第10回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(1)
第11回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(2)
第12回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(3)
第13回	政府の財政、政府の役割、財政政策(1)
第14回	政府の財政、政府の役割、財政政策(2)
第15回	政府の財政、政府の役割、財政政策(3)
第16回	まとめ（試験またはレポートを含む）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593007101	科目番号 / Course code	05930071
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a6企業金融論 / Corporate Finance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y_imani@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階603番研究室		
担当教員TEL/Tel	080-1264-3261		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では企業金融の基礎的な理論について学習する。企業価値向上のために、企業はどのような基準で財務的な意思決定を行っているかを整理する。財務的な意思決定として、本講義では「投資意思決定」「資金調達」「配当政策」の3つを主に扱う。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。企業ファイナンスは次のDPを授業到達目標としています。 DP5: 各コースの学修到達目標を達成している。 特に、ファイナンスコースの学修到達目標、グローバル経済コースの学修到達目標、経営と会計コースの学修到達目標、総合経済コースの学修到達目標		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験100点で評価。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前にレジュメを配布するので、目を通したうえで講義に臨むこと (2h) 復習: レジュメの再読をすること。また練習問題が付属している場合には、期末試験に備えて解いておくこと (2h)		
キーワード/Keywords	投資意思決定 資金調達 配当政策		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: なし(レジュメを配布します) 参考書 (1): 新井富雄・高橋文郎・芹田敏夫『コーポレート・ファイナンス 基礎と応用』中央経済社 参考書 (2): ジョナサン・パーク/ピーター・ディマーゾ「コーポレートファイナンス 入門編、応用編第2版」丸善出版		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	確率統計に関する講義を受けたことがあると、理解の助けになります。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面形式
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	イントロダクション（対面）
第 2 回	企業の目的とコーポレートガバナンス（対面）
第 3 回	企業の資金調達方法の種類（1）（対面）
第 4 回	企業の資金調達方法の種類（2）（対面）
第 5 回	投資の意思決定（1）（対面）
第 6 回	投資の意思決定（2）（対面）
第 7 回	投資の意思決定（3）（対面）
第 8 回	第9回講義のための数学準備(初歩的な確率論)（対面）
第 9 回	平均-分散アプローチ（対面）
第 1 0 回	CAPM（対面）
第 1 1 回	資本構成（1）（対面）
第 1 2 回	資本構成（2）（対面）
第 1 3 回	資本構成（3）（対面）
第 1 4 回	配当政策（1）（対面）
第 1 5 回	配当政策（2）（対面）
第 1 6 回	期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593005101	科目番号 / Course code	05930051
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a7Japan's Foreign and National Security Policy / Japan's Foreign and National Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyota▲nagasaki-u.ac.jp (▲→@)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟 (言語教育研究センター) 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Please make an appointment.		

授業の概要及び位置づけ/Course overview	Is the world today in a bipolar or a multipolar order? This question remains debatable. One thing for sure, we are witnessing a transitional period that deepens uncertainty. While rivalry between Washington and Beijing is shaping a new world order, Moscow is still challenging for the superpower status. It is also said the 21st century is the "Asian Century" or the "Pacific Century," but Europe is still a battle field of power politics. In the age of uncertainty, Japan also faces various unprecedented challenges as well as traditional difficulties. It is located in the Northeast Asia with three nuclear-weapon states, including Russia, China and North Korea, where history also continues to plague the relations among nations. While the importance of the Japan Self Defense Forces (JSDF) and the Japan-US alliance have risen due to a series of incidents that destabilize the region, successive administrations have dithered over the amendment of the Japanese constitution. Such government indecision often spoils Japanese national interests. On the other hand, however, we must admit that some of the problems do not have easy solutions or answers. Failed decisions could cause damage the relationships with other countries and arouse massive public oppositions. The governments face with dilemma when they make such important decisions from time to time. At the same time, we also must raise our voice before the governments reach their decisions. In the first place, what kind of voice should we raise? Do we have our own opinions and enough knowledge to judge the government decisions? Are our positions always correct and not biased? Are there any other options? In this context, this series of lecture takes up several controversial issues that relate to Japan's foreign and national security policy and discuss how we should deal with them. It covers a wide range of topics including traditional security such as territorial disputes, arms race and sea lane defense as well as non-traditional security such as climate change, cybercrimes and food sustainability. It also discusses the difference between theory and practice of International Relations. In addition, this course will be full of opportunities to listen, speak, read, and write English, since the majority of the classmates could be non-native English speakers. Not only instructor's lectures, students will listen to the guest speakers' English as well as international news, Youtube and so on. All students must participate the discussions and express their opinions in English during the lectures. For preparation of the class, students are required to read news and write emails to the instructor about their findings and opinions in English weekly. Finally, students are required to write a 1000-words position paper as an assignment. (The extended syllabus and references are available at
授業到達目標/Course goals	The goals for students in this course are; (1) gain a deeper understanding of Japan's foreign and national security policy and the complex disputes in the region, (2) develop critical thinking, (3) gain confident in expressing one's opinions logically, and (4) write a position paper and make a presentation in English.
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Class Attendance and Participation (15 points), Preparation for the class (21 points), Position paper (40 points), and Presentation (24 points)
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Course preparation: 2 hours Writing a position paper: 2 hours
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	No textbook
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	This series of lectures will be conducted face-to-face. The extended syllabus and references are available at https://padlet.com/tomokokiyota/3fn55jcf72wq9mcp . password: nagasakiuniversity
学生へのメッセージ/Message for students	- Students with different backgrounds and varying English level are expected to take this course and discuss on controversial issues together. Please treat your colleagues and different opinions with respect. - For non-native English speakers; this course will provide you a lots of opportunities to practice English. Listen to and read international news, speak up and write in English as many as possible. - For native English speakers; if you think this course is too easy for you, I'll give you Japanese assignments.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	Dr. Kiyota is an Associate Professor at the Office for Global Relations, Nagasaki University. Earlier, she was a First Secretary at the Embassy of Japan in Thailand from April 2019 to April 2021, and an Official at Regional Policy Division, Asian and Oceanian Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs from April 2017 to March 2019. She was also an Advisor/Researcher at the Embassy of Japan in India from February 2015 to February 2017. This series of lectures will take up very important issues that impact Japan's foreign and national security policy, based on her experiences in the field of diplomacy.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Introduction, course overview, structure and contents of classes, references and resources, how to discuss about topics, etc. (face to face)
2nd	Diplomacy, national security environment surrounding Japan, the decision-making process in Japan (face to face)
3rd	Article 9 of the Japanese Constitution, Japan Self Defense Force (JSDF), etc. (face to face)
4th	Japan-US Alliance, US Military Bases in Japan, etc. (face to face)
5th	Japanese territory, Senkaku Islands, Takeshima, Northern Territories, territorial disputes, United Nation Convention on the Law of the Sea, etc. (face to face)
6th	Taiwan, Sea Lanes of Communications (SLOC), South China Sea, etc. (face to face)
7th	North Korea, missile and nuclear development, missile defense, United Nations Security Council (NUSC), etc. (face to face)
8th	History, Yasukuni, etc. (face to face)
9th	ASEAN, Intervention in domestic affairs, Myanmar, coup d'état, sanction, etc. (face to face)
10th	Refugee, human rights, immigration, etc. (face to face)
11th	COVID-19 pandemic, vaccine diplomacy, COVAXIN, WHO, etc. (face to face)
12th	Environmental security (face to face)
13th	Energy security (face to face)
14th	Economic security (face to face)
15th	Wrap-up session or more (face to face)
16th	Presentation (face to face)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593005301	科目番号 / Course code	05930053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a7Toward a Nuclear Weapon-Free World / Toward a Nuclear Weapon-Free World		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko, 清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakamurak▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	2nd floor, Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University (RECNA)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー/Office hours	by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	This course is designed to introduce participants to the challenges in facing a world affected by the existence of approximately 15,000 nuclear weapons, and the proliferation of their related materials and technology.		
授業到達目標/Course goals	Overall, this course will not only facilitate students to gain a greater understanding of the various issues related to nuclear weapons, but also help students construct their own ideas and opinions for a better future, and build confidence to express and share these ideas with their peers.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1) Class attendance, preparation, and participation in discussion (60%) 2) Final report (40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Before class, students are expected to read related news articles and materials suggested by the lecturer. (2h) After class, students are expected to read over the returned reaction sheets and do further research on their own on the parts of the lecture that they did not fully		
キーワード/Keywords	nuclear weapons, nuclear disarmament, nuclear non-proliferation, nuclear energy, peace and disarmament education		
教科書・教材・参考書/Materials	Not required (printed materials may be distributed in class)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	This class will be conducted face-to-face.
学生へのメッセージ/Message for students	The working language in the classroom is English and at least a moderate English proficiency is required.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中村 桂子/核兵器廃絶研究分野、特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長の実務経験を有する/特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長として、核軍縮・不拡散問題に取り組んでいた実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識を、英語で教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction to the Course
第2回	Basic Introduction of Nuclear Weapons I: Beginning of Nuclear Age
第3回	Basic Introduction of Nuclear Weapons II: Current status of nuclear world
第4回	Nuclear testing I
第5回	Nuclear testing II
第6回	The Cold War Era and Nuclear Arms Race
第7回	Beyond the Cold War: Risk of Proliferation
第8回	Nuclear Weapons from Regional Perspectives
第9回	Peaceful Use of Nuclear Energy and Nuclear Non-proliferation
第10回	Japanese Nuclear Policy
第11回	Nuclear Weapon-Free Zones
第12回	States that Chose a Non-Nuclear Policy
第13回	Role of Civil Society I
第14回	Role of Civil Society II
第15回	Conclusion

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593000901	科目番号 / Course code	05930009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a8社会保障と医療保障制度 / Social Security and Health Care Systems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	青柳 潔 <kiyoshi▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください) 有馬 和彦 <arima▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください) 水上 諭 <s.mizukami▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部・公衆衛生学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7067		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月・火・水の12:00~13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	すべての国民は「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を有するが、個人の努力(自助)のみでは対応できないリスクも多い。国民が相互に連帯して支え合い、また国が必要な扶助を行うことにより、国民の生存権を保障するのが社会保障の概念である。医療保障とは、国民が傷病の際に、必要な医療を効果的に受けられることを保障する制度である。		
授業到達目標/Course goals	社会保障、医療保障制度を理解し、国民の公衆衛生の向上に貢献できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション等の課題の評価は、与えられたテーマについて調査し、適切なキーワードを用い説明できているかを判断基準とする。レポート等は提出期限内に提出されていることが必要である。 内容理解確認小テスト(5点*7回=35点)+プレゼンテーション課題(15点)+授業への取り組み(15点)+最終試験(35点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：テキストブック、事前配布したハンドアウト、関連内容について自身で収集した資料等で予習する。事前に関係領域の予備知識を取得しておくことが必要である。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト(公的機関のサイトが望ましい)を利用すること。(2h) 事後学習：学習した内容の要点をまとめる。また、理解できなかった箇所は、テキストブック等を使って明らかにするとともに、講師・教員に質問し必ず解決すること。レポート等課題があれば、速やかに対応すること。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト(公的機関のサイトが望ましい)を利用すること。(2h)		

キーワード/Keywords	所得保障、社会福祉、医療保障、公衆衛生
教科書・教材・参考書/Materials	厚生労働省HP(https://www.mhlw.go.jp/index.html)、ハンドアウト
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 - 2回（4月12日）	社会保障の概念、社会保険、所得保障（年金・生活保護）、社会福祉（対面）：担当 青柳 潔
3 - 4回（4月19日）	グループワーク（対面）：担当 水上 諭
5 - 6回（4月26日）	グループワーク（対面）：担当 青柳 潔
7 - 8回（5月10日）	プレゼンテーション、国民医療費（対面）：担当 有馬 和彦
9 - 10回（5月17日）	医療保険、公費医療（対面）：担当 青柳 潔
11 - 12回（5月24日）	グループワーク（対面）：担当 水上 諭
13 - 14回（5月31日）	グループワーク（対面）：担当 有馬 和彦
15 - 16回（6月7日）	プレゼンテーション、試験（対面）：担当 水上 諭

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593001101	科目番号 / Course code	05930011
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a8健康増進 / Health Promotion		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	青柳 潔 <kiyoshi▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してくだ さい) 有馬 和彦 <arima▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してくだ さい) 水上 諭 <s.mizukami▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してく ださい)		
担当教員研究室/Office	医学部・公衆衛生学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7067		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月・火・水の12:00~13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	健康増進は、疾病の予防のみならず、健康状態を向上するための行動を含んだ積極的な概念です。 健康寿命の延伸とQOLの向上を目指します。健康づくりや疾病予防を進めるために、健康増進法が制 定されています。 健康日本21は、21世紀における国民健康づくり運動です。すべての国民がともに支え合い、健やか で心豊かに生活できる社会を目指します。 生活習慣病は食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が、その発症・進展に関与する 疾患群と定義されます。生活習慣は改善可能な因子として生活習慣病の予防に重要です。 特定健康診査・特定保健指導では、血糖・脂質・血圧などに関する健康診査の結果から、生活習慣 の改善が必要な者を抽出し、保健指導を実施することにより、生活習慣病を予防することを目的と しています。 がんはわが国の死因の1位であることから、重要課題として対策が進められています。 今後実際の健康問題にどのように対応していくのかについてグループワークやディスカッションを 通して、自分達なりの答えを考え出していくことを目指します。		
授業到達目標/Course goals	健康増進法、健康日本21、肝炎対策、生活習慣病対策、特定健康診査・特定保健指導、がん対策を 理解し、国民の公衆衛生の向上に貢献できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション等の課題の評価は、与えられたテーマについて調査し、適切なキーワードを用 い説明できているかを判断基準とする。レポート等は提出期限内に提出されていることが必要であ る。 内容理解確認小テスト(5点*7回=35点)+プレゼンテーション課題(15点)+授業への取り組み (15点)+最終試験(35点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：テキストブック、事前配布したハンドアウト、関連内容について自身で収集した資料等で予習する。事前に関係領域の予備知識を取得しておくことが必要である。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（2h） 事後学習：学習した内容の要点をまとめる。また、理解できなかった箇所は、テキストブック等を使って明らかにするとともに、講師・教員に質問し必ず解決すること。レポート等課題があれば、速やかに対応すること。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（2h）
キーワード/Keywords	健康増進法、健康日本21、肝炎対策、生活習慣病対策、特定健康診査・特定保健指導、がん対策
教科書・教材・参考書/Materials	厚生労働省HP(https://www.mhlw.go.jp/index.html)、ハンドアウト
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	（対面）
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-2回（6 / 14）	健康増進法、健康日本21、肝炎対策（対面）：担当 水上 諭
3 - 4回（6 / 21）	グループワーク（対面）：担当 水上 諭
5 - 6回（6 / 28）	グループワーク（対面）：担当 青柳 潔
7 - 8回（7 / 5）	プレゼンテーション、生活習慣病対策（対面）：担当 有馬 和彦
9 - 10回（7 / 12）	特定健康診査・特定保健指導、がん対策（対面）：担当 青柳 潔
11 - 12回（7 / 19）	グループワーク（対面）：担当 有馬 和彦
13 - 14回（7 / 26）	グループワーク（対面）：担当 青柳 潔
15 - 16回（8 / 2）	プレゼンテーション、試験（対面）：担当 水上 諭

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593001301	科目番号 / Course code	05930013
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●a9個体と社会生命を哲学する / Philosophy of Individual and Social Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池松 和哉 / Ikematu Kazuya, 山下 裕美 / Yamashita Hiromi, 井上 信一		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池松 和哉 / Ikematu Kazuya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池松 和哉 / Ikematu Kazuya, 山下 裕美 / Yamashita Hiromi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-ikema▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部基礎研究棟6階法医学教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7076		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:00~18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間はいつか死を迎えるが、その最期は様々である。現代社会においてヒトの死は、自然死や病死をはじめ、交通事故や他殺、薬物中毒、虐待、ストレス社会における過労死、あるいは隣家との接触の希薄化などによる都市部での孤独死、また自らの命を絶つ自殺など多様化している。本講義では、死、死に至る過程、様々な死について医学的側面から各講師が講義し、社会的側面から個人が貢献できることを考えるための素材を提供する。「社会からの逸脱」であるヒトの死について学ぶことで、「生命と社会」という普遍的な命題について哲学する。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会的側面から解剖の意義について説明できる。 2. ヒトの様々な死、そしてその意義を説明できる。 3. 生命と社会における個人の役割について考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	討論への貢献度、課題レポート: 40% 終了時提出のポートフォリオ、レポート: 60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎週の課題に対する回答を作成し、発表できる様にすること(2時間程度)。 毎週の最終課題に対するレポート作成を行う(2時間程度)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	学生のための法医学(南山堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全ての授業に出席できること。講義内容の復習、それに伴う情報収集、そして発表ができること。 グループ活動に積極的に参画できること。適切なモジュール科目に合格していること		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で行います
学生へのメッセージ/Message for students	人は誰しも精神的に健康な状態の時は、前向きに社会と関係を持つことができますが、そうでない時は社会との関係が希薄になり、つながりを断ち切りたいと思うようになります。そこで、医学的（法医学的）観点からヒトの死について学ぶことで、「生命」についての自分なりの価値観を確立し、社会における個人としての役割等について考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	社会的側面から解剖の意義について考える。（対面）
第2回	社会的側面から解剖の意義について考える。（対面）
第3回	自殺について考える。（対面）
第4回	自殺について考える。（対面）
第5回	アルコールについて考える。（対面）
第6回	アルコールについて考える。（対面）
第7回	薬毒物について考える。（対面）
第8回	薬毒物について考える。（対面）
第9回	虐待について考える。（対面）
第10回	虐待について考える。（対面）
第11回	安楽死について考える。（対面）
第12回	安楽死について考える。（対面）
第13回	臓器の移植について考える。（対面）
第14回	臓器の移植について考える。（対面）
第15回	総括。（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593001501	科目番号 / Course code	05930015
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●a9環境による肺や腎臓への影響 / Environmental Effects on Lungs and Kidneys		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	迎 寛 / Mukae Hiroshi, 西野 友哉 / Nishino Tomoya, 高園 貴弘 / Takazono Takahiro, 牟田久美子 / Io Kumiko, 尾長谷 靖 / Obase Yasushi, 井上 信一, 城戸 貴志, 竹本 真之輔, 深堀 範, 鳥越 健太		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	迎 寛 / Mukae Hiroshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	迎 寛 / Mukae Hiroshi, 西野 友哉 / Nishino Tomoya, 高園 貴弘 / Takazono Takahiro, 牟田久美子 / Io Kumiko, 尾長谷 靖 / Obase Yasushi, 井上 信一, 城戸 貴志, 竹本 真之輔, 深堀 範, 鳥越 健太		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmukae▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院呼吸器内科、腎臓内科		
担当教員TEL/Tel	095-819-7273		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜 午前 9時~11時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々が生活するうえで環境による人体への影響は不可避です。特に肺や腎臓はそれらの影響を受けやすい臓器でもあります。長崎での取り組みを含め学修していきましょう。		
授業到達目標/Course goals	環境による肺や腎臓への影響を学び、これらについて、長崎での取り組みを含め説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	第3~14までは2コマごとに(第4, 6, 8, 10, 12, 14)それぞれ評価(レポートまたはプレゼンテーション)5点満点x6(30点満点)、それ以外の、1, 2, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 16は出席時の授業参加度として3点/回を与える(遅刻、早退、欠席は0点)。第16回目の定期試験を40点満点で評価し、総合点が60点以上を合格とする。再試験は行わない。 合理的配慮の必要な案件があれば、その根拠をもって相談してください。必要な合理的配慮には合理的配慮を行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	第3回~第14回は講義スライドをLACSにアップロードするので、事前学習をお願いします(2時間)。 各授業後に復習すること 2時間 。 第1回は導入講義 第2回はプレテストなので準備は不要です。 第15回はそれまでのまとめ、第16回を定期試験とします。		
キーワード/Keywords	環境、呼吸器、腎臓、長崎の取り組み		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書、教材の指定はない。適宜資料をLACSにアップロードする		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面講義です。 最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。 その場合はLACSで連絡します。	
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y 実務経験あり	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	迎 寛、尾長谷靖、坂本恵穂、城戸貴志、竹本真之輔/上記5名については呼吸器内科において医師としての実務経験を有している。/当該科での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。 牟田 久美子/腎臓内科において医師としての実務経験を有している。/ 当該科での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	第1回 導入（対面）：環境と肺障害（長崎県の課題を通して学修）担当：尾長谷	F
第2回	第2回（対面） プレテスト 担当：尾長谷	F
第3回	第3回（対面） PM2.5と健康（長崎県の取り組みを通して学修）担当：尾長谷	F
第4回	第4回（対面） PM2.5と健康 学生プレゼンテーション 担当：尾長谷	A B D
第5回	第5回（対面） 被爆県長崎で学ぶべきタバコの健康問題、COPDを中心に（長崎県の取り組みを通して学修）担当：深堀	D
第6回	第6回（対面） タバコの問題に関するプレゼンテーション 担当：深堀	A
第7回	第7回（対面） 環境と感染症 講義（長崎県の取り組みを通して学修）担当：高園	B D
第8回	第8回（対面） 環境と感染症 学生プレゼンテーション 担当：高園	A B D
第9回	第9回（対面） 身近にある発がん性物質 担当：竹本	F
第10回	第10回（対面） 肺がんの早期発見と治療 レポート提出 担当：竹本	F
第11回	第11回（対面） 職業と肺疾患（塵肺を念頭に）担当：城戸	F
第12回	第12回（対面） 生活環境と肺疾患（過敏性肺炎を念頭に） レポート提出 担当：城戸	F
第13回	第13回（対面） 生活習慣と腎臓病 担当：鳥越	F
第14回	第14回（対面） 腎不全の治療法（透析、移植） レポート提出 担当：鳥越	F
第15回	第15回（対面） まとめ 担当：尾長谷	F
第16回	第16回（対面） 定期試験 担当：尾長谷	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587008101	科目番号 / Course code	05870081
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11911_005		
授業科目名 / Course title	● a10伝承薬から最先端医薬品まで(薬はこうして創られる) / From Folk Medicines to Advanced Medicines		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	尾野村 治 / Osamu Onomura, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 栗山 正巳 / Kuriyama Masami, 山本 耕介 / Yamamoto Kosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	尾野村 治 / Osamu Onomura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	尾野村 治 / Osamu Onomura, 栗山 正巳 / Kuriyama Masami, 山本 耕介 / Yamamoto Kosuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	尾野村: onomura▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) 栗山: mkuriyam▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	薬学部 医薬品合成化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2429		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 15:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々の身の回りにある医薬品は化学物質で構成されている。化学物質は原子から出来ており、医薬品の作用機構など生命現象の多くは化学の言葉で語ることが可能である。高校の受験科目としての化学ではなく、生きた化学を理解し、医薬品の化学を通して化学を面白く感じるようになることが授業の狙いである。		
授業到達目標/Course goals	・グループ内での役割(司会、書記、発表、質疑)を積極的に担い、他者と協働して1つの発表資料を作成し、他者に分かり易く伝えることができる()。 ・人類の病気との戦いの歴史を医薬品創製の歴史に結びつけ、説明できる()。 ・経験的に見出された伝承薬、天然物から発見された医薬品、そしてコンピューターによってデザインされた医薬品など、様々な医薬品はどのようにして合成し供給されるのか概説できる()。 ・幾つかの医薬品を例にとり、化学が医薬品開発に果たしてきた役割を概説できる()。 ・医薬品が世の中に出るまでを理解できる()。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的授業参加態度(40%)、グループプレゼンテーションの発表内容および報告レポート(60%)、合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前学習) グループ内調査に向けて、下調べしておくこと。プレゼン練習もしておくこと(2h)。 (事後学習) グループ内発表やプレゼンテーションに備え、プレゼン資料をまとめておくこと。また、他者や他グループの発表内容の理解にも努めること(2h)。		
キーワード/Keywords	医薬品、化学合成、天然物		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指定する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施。
学生へのメッセージ/Message for students	作製した内容については、ポートフォリオにアップしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	尾野村 治/企業において創薬研究の実務経験/医薬品の創製に従事した経験をもとに、創薬研究者としての実践的能力に必要な基本的知識を養う。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	テーマの提示とグループ分け（１）（対面）：担当 尾野村 治
第2回	グループ内での調査（１）（対面）：担当 尾野村 治
第3回	グループ内での調査（２）（対面）：担当 尾野村 治
第4回	進捗状況の報告と意見交換（１）（対面）：担当 尾野村 治
第5回	中間プレゼンテーション（１）（対面）：担当 尾野村 治
第6回	グループ内での調査（３）（対面）：担当 尾野村 治
第7回	進捗状況の報告と意見交換（２）（対面）：担当 栗山 正巳
第8回	グループプレゼンテーション、全体討論（１）（対面）：担当 栗山 正巳
第9回	テーマの提示とグループ分け（２）（対面）：担当 栗山 正巳
第10回	グループ内での調査（４）（対面）：担当 栗山 正巳
第11回	進捗状況の報告と意見交換（３）（対面）：担当 栗山 正巳
第12回	中間プレゼンテーション（２）（対面）：担当 栗山 正巳
第13回	グループ内での調査（５）（対面）：担当 山本 耕介
第14回	進捗状況の報告と意見交換（４）（対面）：担当 山本 耕介
第15回	グループプレゼンテーション、全体討論（２）（対面）：担当 山本 耕介
第16回	報告レポート提出、総括（対面）：担当 尾野村 治

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587056701	科目番号 / Course code	05870567
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15511_005		
授業科目名 / Course title	●a10高齢化社会と地域医療・薬とのかかわり / Aging Society and Its Association of Community - Based Medical Care and Medicine		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥羽 陽 / Toriba Akira, 吉田 さくら / Yoshida Sakura, 向井 英史 / Mukai Hidefumi, 安孫子 ユミ / Abiko Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥羽 陽 / Toriba Akira, 吉田 さくら / Yoshida Sakura, 向井 英史 / Mukai Hidefumi, 安孫子 ユミ / Abiko Yumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmukai▲nagasaki-u.ac.jp (向井)、toriba▲nagasaki-u.ac.jp (鳥羽)、yumi.abiko.11▲nagasaki-u.ac.jp (安孫子)、yoshida-s▲nagasaki-u.ac.jp (吉田) (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	「医歯薬学総合研究棟7階 医薬品情報学研究室」「薬学部研究棟5階 衛生化学研究室」		
担当教員TEL/Tel	095-819-8564 (向井)、095-819-2441 (鳥羽)、095-819-2442 (安孫子)、095-819-2443 (吉田)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00 ~ 13:00 事前にE-mailで予約すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎県は高齢化社会の先進地区であり、高齢化が進む日本の将来の医療を考える上で重要なモデルである。出島に近代西洋科学が導入されたくすりの歴史から、現在における高齢化社会の典型的な疾病とくすりの使われ方まで、医療経済を交えながら学び、長崎県を起点として高齢化社会におけるくすりの付き合い方について議論していく。後半の授業では、高齢化社会の進展に伴い急増する認知症に焦点を絞り、生命科学の視点からだけでなく、多様な視点から認知症に対する理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	・高齢化社会への対応という現代的課題について自ら探究した上で、課題の解決に向けた提案ができる() ・高齢化社会における医療の変化について調査するだけでなく、その結果に対する自分の考えをまとめることができる()。 ・高齢化社会におけるくすりの使い方などを調査し、それぞれの結果について意見を述べあうことによって理解を深めることができる()。 ・高齢化社会への対応について調査した結果と見解を、他者にわかりやすく、伝えることができる() ・認知症に関して、多方面からの情報を収集することができる()。 ・長崎県の高齢者化社会での問題点を整理し、課題を発表できる()。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的授業参加態度（10%）、レポート(60%)、調査活動の成果と発表（30%） 積極的授業参加態度は、LACS上のオンラインテストにて評価する。 レポート、調査活動の成果と発表は、全学モジュール科目の到達度評価用ルーブリック案を用いて評価する。 http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/teacher/activeLearning2.html
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前にLACS等で提示する資料に目を通し予習をしておく（2時間）。また、事後には授業で与えられた課題をプレゼンテーション資料やレポートとしてまとめる（2時間）。
キーワード/Keywords	くすり、高齢者、医療、医療経済、長崎県
教科書・教材・参考書/Materials	特になし・必要に応じて資料を配付する
受講要件（履修条件）/Prerequisites	調査等のため授業学習時間は不可欠で、授業時間だけでは、十分な学習を行うことは困難です。LACSや、個人のPCを活用した自主的な時間外学習は、週平均2時間以上は必要です。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	高齢者の問題・課題は、介護問題だけでなく社会に関わる多くの要因が絡んでいます。自分が目指す分野における関係性について考えてみてください。また、グループディスカッションとプレゼンテーションは、皆さんの総合力を磨く絶好のチャンスです。どんなことでもいいので、積極的に発言する姿勢で臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	向井英史／博士研究員・研究室主宰者として国立研究開発法人理化学研究所にてドラッグデリバリーシステムや分子イメージング科学分野の基礎研究を行なう実務経験／創薬や医療技術などの高度化による薬と社会のかかわりの変化を通して医療リテラシーを養う
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4月11日（木）4校時 向井	第1回：“くすりの過去 出島の科学”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト（対面）
4月11日（木）5校時 向井	第2回：第1回の学習項目を基にした研究テーマ候補4題の決定、資料を用いた予備調査によるさらに深く調査する研究テーマ1題の選定（対面）
4月18日（木）4校時 向井	第3回：第2回で選定した研究テーマに関するさらなる調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成（対面）
4月18日（木）5校時 向井	第4回：総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）（対面）
4月25日（木）4校時 向井	第5回：“高齢化社会における医療経済と長崎県”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト、講義資料におけるキーワードを基にした研究テーマの選定（対面）
4月25日（木）5校時 向井	第6回：第5回で選定した研究テーマに関する詳細な調査（対面）
5月9日（木）4校時 向井	第7回：研究テーマに関するさらなる調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成（対面）
5月9日（木）5校時 向井	第8回：総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）（対面）
5月16日（木）4校時 鳥羽、安孫子、吉田	第9回：“高齢化社会における認知症の現状”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト、課題に対するアンケート（オンデマンド）
5月16日（木）5校時 鳥羽、安孫子、吉田	第10回：認知症に関する情報収集(Web)と研究テーマの提案（オンデマンド）
5月23日（木）4校時 鳥羽、安孫子、吉田	第11回：関連のある研究テーマに関する予備調査および研究テーマ・研究目的の決定（対面）
5月23日（木）5校時 鳥羽、安孫子、吉田	第12回：第11回で選定した研究テーマに関する詳細な調査（対面）
5月30日（木）4校時 鳥羽、安孫子、吉田	第13回：研究テーマに関するさらなる詳細な調査、プレゼンファイルと発表原稿の作成開始（対面）
5月30日（木）5校時 鳥羽、安孫子、吉田	第14回：研究テーマに関するさらなる詳細な調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成、さらに不足するデータの収集（対面）
6月6日（木）4校時 鳥羽、安孫子、吉田	第15回：研究テーマに関する詳細な調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587008501	科目番号 / Course code	05870085
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11921_005		
授業科目名 / Course title	● a11薬との賢い付き合い方 / How to Wisely Get Along with Medicines		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki, 塚原 完 / Tsukahara Tamotsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki, 塚原 完 / Tsukahara Tamotsu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-kaneko▲nagasaki-u.ac.jp(金子) / ttamotsu▲nagasaki-u.ac.jp(塚原) (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス・薬学部本館4階・創薬薬理学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2421(金子) / 095-819-2473(塚原)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金(9:00～17:00)事前にメールでアポイントメントを取ること。(金子) / メールにて受け付けます。(塚原)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬の効くしくみや体内での動きを理解すること、また、医薬品の影の部分(有害作用)を知ること は薬と賢くつきあうために重要である。本講義では生体の機能を知り、生命現象の理解を深めるための講義を行う。講義をもとに、薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて各自調査したことを発表する。		
授業到達目標/Course goals	1. 能動的な学修ができるようになる。 2. 情報を集め、議論してまとめることができるようになる。 (全学DP: DP-1、DP-5、DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題(20%)、プレゼンテーション課題(60%)、授業への積極的な取り組み(20%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前実習: シラバスに従い、関連する内容についてあらかじめ調べてくる。発表内容を調査し、発表の準備をする。(2時間) 事後学習: 講義の内容についてレポートにまとめ、疑問などについて次回の講義までに明らかにする。(2時間)		
キーワード/Keywords	薬理作用、体内動態、副作用、がん、生活習慣病、麻薬、向精神薬		
教科書・教材・参考書/Materials	関連ニュースや新聞記事などに目を通しておくこと。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	6回以上の欠席は失格とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は対面で実施する。 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/soyakuri/index-j.html	
学生へのメッセージ/Message for students	薬を賢く使用するためには科学に立脚した基礎知識をしっかりと身につける必要があります。ぜひとも薬に興味を持って授業に臨み、自分なりの発見をする場として、有効に活用してもらいたいと思います。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N（金子）/Y（塚原）	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	米国大学における実務経験。医薬品の開発研究、特に探索研究における講義。（塚原）	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回（4/12：4講目）	薬の主作用と副作用について講義する。（対面）：担当 金子 雅幸	F
第2回（4/12：5講目）	薬の生体内運命について講義する。（対面）：担当 金子 雅幸	F
第3回（4/19：4講目）	薬のメリット・デメリットについて調べ発表する。（対面）：担当 金子 雅幸	A B D
第4回（4/19：5講目）	消化器系の病気に使用される薬について講義する。（対面）：担当 塚原 完	F
第5回（4/26：4講目）	消化器系の病気に使用される薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。（対面）：担当 塚原 完	A B D
第6回（4/26：5講目）	循環器系の病気に使用される薬について講義する。（対面）：担当 金子 雅幸	F
第7回（5/10：4講目）	循環器系の病気に使用される薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。（対面）：担当 金子 雅幸	A B D
第8回（5/10：5講目）	内分泌系の病気に使用される薬について講義する。（対面）：担当 塚原 完	F
第9回（5/17：4講目）	内分泌系の病気に使用される薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。（対面）：担当 塚原 完	A B D
第10回（5/17：5講目）	神経系の病気に使用される薬について講義する。（対面）：担当 金子 雅幸	F
第11回（5/24：4講目）	神経系の病気に使用される薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。（対面）：担当 金子 雅幸	A B D
第12回（5/24：5講目）	感染症に使用される薬について講義する。（対面）：担当 塚原 完	F
第13回（5/31：4講目）	感染症に使用される薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。（対面）：担当 塚原 完	A B D
第14回（5/31：5講目）	抗がん薬について講義する。（対面）：担当 塚原 完	F
第15回（6/ 7：4講目）	抗がん薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。（対面）：担当 塚原 完	A B D

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587009301	科目番号 / Course code	05870093
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11941_005		
授業科目名 / Course title	● a11疾病と薬物治療 / Diseases and Drug Therapy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	都田 真奈 / Miyakoda Mana, 金子 雅幸 / Kaneko Masayuki, 北里 海雄 / Kitazato Kaio		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	都田 真奈 / Miyakoda Mana		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	都田 真奈 / Miyakoda Mana, 北里 海雄 / Kitazato Kaio		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mana-t▲nagasaki-u.ac.jp、kkholi▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	薬学部本館2階 育薬研究教育センター・臨床研究薬学研究室(文教キャンパス)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2456		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金 9:00～17:00。メールにて予約すること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	感染症、がん、循環器疾患、神経疾患、糖尿病などの病気について調べ、その病態の概念や薬物療法(その他の治療法を含む)について学ぶ。さらに、日常生活習慣と疾病との関連性や生活習慣の改善法について考える。		
授業到達目標/Course goals	自ら学び、考え、主張し、行動することができる。 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。 地球環境と社会の多様性を理解している。 主体性をもって他者と協働できる。 地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ■ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 問題を出して、考えさせてから、それぞれの学生に回答を求める。 □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度30点、授業への取組み 30点、プレゼンテーション課題 40点の計100満点中60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	[予習] 各回のテーマに関する情報を新聞や書籍であらかじめ調べてきてください。(2h) [復習] 各回のテーマにに関連した書籍や論文を探し、読んでください。(2h)		
キーワード/Keywords	疾病、薬物治療、生活習慣		
教科書・教材・参考書/Materials	特になし		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	6回以上の欠席は失格とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	課題があるので、その都度必ず予習・復習して授業へ参加すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	都田真奈/長崎大学病院での薬剤師としての実務経験/各疾患の薬物治療、予防、生活習慣について説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 6月13日 木4	オリエンテーション（成績評価の説明、アイスブレイキング）（都田、北里）
第2回 6月13日 木5	身近な薬（テーマ1）について調べ、グループで話し合う（都田）
第3回 6月20日 木4	身近な薬（テーマ1）について調べ、グループで話し合う（都田）
第4回 6月20日 木5	身近な薬（テーマ1）について、グループで意見をまとめる（都田）
第5回 6月27日 木4	身近な薬（テーマ1）について、グループでプロダクトを作成し発表準備をする（都田）
第6回 6月27日 木5	身近な薬（テーマ1）について、発表し、情報交換、情報共有する（都田、北里）
第7回 7月4日 木4	関連トピック講義：「感染症と免疫」 ある疾病の原因・診断・病態・治療・予防（テーマ2）について調べ、グループで話し合う（北里）
第8回 7月4日 木5	身近な疾患の原因・診断・病態・治療・予防（テーマ2）について、グループで意見をまとめる（北里）
第9回 7月11日 木4	身近な疾患の原因・診断・病態・治療・予防（テーマ2）について、グループでプロダクトを作成し発表準備をする（北里）
第10回 7月11日 木5	身近な疾患の原因・診断・病態・治療・予防（テーマ2）について、発表し、情報交換、情報共有する（北里）
第11回 7月18日 木4	・関連トピック講義「腸内細菌と薬物療法」 身近な疾患の原因・診断・病態・治療・予防（テーマ3）について調べ、グループで話し合う（北里）
第12回 7月18日 木5	身近な疾患の原因・診断・病態・治療・予防（テーマ3）について、グループで意見をまとめる（都田）
第13回 7月25日 木4	身近な疾患の原因・診断・病態・治療・予防（テーマ3）について、グループでプロダクトを作成し発表準備をする（都田）
第14回 7月25日 木5	身近な疾患の原因・診断・病態・治療・予防（テーマ3）について、発表し、情報交換、情報共有する（都田、北里）
第15回 8月1日 木4	課題についてレポートを作成し、授業の総括を行う（都田）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587045301	科目番号 / Course code	05870453
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14111_005		
授業科目名 / Course title	● a12意思決定の数理 / Mathematical Approach for Decision-Making		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	goma▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館6F 教員・ゼミ室606		
担当教員TEL/Tel	095-819-2698		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜5校時 これ以外でも良いが電子メールによるアポイントメントを取ることを勧める。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	いくつかの選択肢の中から自分の意志を決定するような状況を、数理科学的手法を用いて解決する際の基本的事項について学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	意思決定に関する数理科学的手法を用いて、問題解決を行えるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☒ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認課題(20点×3回=60点)+授業への取り組みやプレゼンテーションへの参加(40点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	< 予習 > 講義資料の該当範囲について事前に読んでおくこと(2h) < 復習 > 講義内容および講義資料をもとに復習し、出題される演習問題を解き、レポートにまとめること(2h)		
キーワード/Keywords	誤り符号訂正・順序問題・割当問題・ゲーム理論		
教科書・教材・参考書/Materials	講義に必要な資料を準備する。 資料の入手方法は講義の最初に説明する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	対面で講義を行います。		
学生へのメッセージ/Message for students	高校での数学の知識があれば理解できる講義内容です。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 第2回	ガイダンス 誤り符号訂正について	F
第3回 第4回	順序問題	F
第5回 第6回	割当問題 誤り符号訂正・順序問題・割当問題に関する演習	A
第7回 第8回	ゲーム理論：ゲーム理論概要 ゼロサムゲーム ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲーム(純粋戦略)	F
第9回 第10回	ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲーム(混合戦略) ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲームに関する演習・プレゼンテーションの準備	A
第11回 第12回	ゲーム理論：ノン・ゼロサムゲーム ノンゼロサムゲーム ゲーム理論：ノン・ゼロサムゲーム ノンゼロサムゲームに関する演習・プレゼンテーションの準備	A
第13回 第14回	各演習の解答のプレゼンテーション	A
第15回	各演習の解答のプレゼンテーション	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587045701	科目番号 / Course code	05870457
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14131_005		
授業科目名 / Course title	● a12分子設計と合成化学 / Molecular Design and Synthetic Chemistry		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	木村 正成 / Kimura Masanari, 下本 陽一 / Shimomoto Yoichi, 有川 康弘 / Arikawa Yasuhiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	木村 正成 / Kimura Masanari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	木村 正成 / Kimura Masanari, 有川 康弘 / Arikawa Yasuhiro		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	木村(masanari▲nagasaki-u.ac.jp), 有川(arikawa▲nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	木村(工学部1号館3階)、有川(工学部1号館2階)		
担当教員TEL/Tel	木村(819-2677), 有川(819-2673)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にメールでアポイントメントを取った方が望ましい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医薬品や機能性材料など、我々の生活に不可欠な有用物質の性質や構造を理解すると共に、分子設計と合成化学について学ぶ。 医薬品・創薬の授業では、今後、長崎大学が設置予定であるBSL-4の研究に関わる内容も包括し、感染症治療薬に関する内容を取り扱う。		
授業到達目標/Course goals	合成化学に関する科学的な思考法と方法論の基礎を学ぶ。 医薬品合成や遷移金属錯体化学について学び、日常生活と科学が如何に密接な関係にあるのかが理解できる。 感染症治療薬の開発について調べるとともに、長崎大学の感染症研究やBSL-4研究開発の現状に関して議論する。長崎県や長崎大学の科学分野における強みや今後発展の可能性のある研究事例を考察することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート(60%)と積極な授業参加(40%)を総合して判断 木村担当と有川担当の平均で評価する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	長崎県や長崎大学で行われている研究について調べ、今後の発展課題を考える(2h)。長崎の地域医療や科学に関連する発展分野を調べたり考察する(2h)。 各班毎に事前学習として調べた内容についてプレゼンテーションを行う(2h)。終了後は、プレゼンテーションを行った感想や、本講義で得られた知識等についてレポートを提出する(2h)。		
キーワード/Keywords	合成化学・創薬・医薬品・金属錯体・機能性材料・長崎大学		

教科書・教材・参考書/Materials	木村担当 参考書 「現代有機化学(上)(下)」(ボルハルトショアー著 化学同人)、 「創薬化学-有機合成からのアプローチ-」(北泰行著,東京化学同人) 有川担当 参考書 「錯体化学」(佐々木陽一,柘植清志著 裳華房) 「配位化学(第2版)-金属錯体の化学-」(F.パソロ,R.C.ジョンソン著 化学同人)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	高校時代に化学を履修している事が望ましい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	受講する学生の学部が多岐にわたっているため、理解度も異なってくると思うが、積極的に学習した学生には特に評価を高くする。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	担当 木村 講義内容の説明、進め方について イントロダクション<対面授業>
第2回	課題内容調査 1 テーマ設定及び調査 <対面授業>
第3回	講義 有機化学と医薬品開発 <対面授業>
第4回	課題内容調査 2 発表内容検討及び調査 <対面授業>
第5回	感染症について(新型コロナウイルスの感染メカニズム) <対面授業>
第6回	感染症薬剤開発について(新型コロナウイルスの治療薬開発など) <対面授業>
第7回	長崎大学における感染症研究について <対面授業>
第8回	長崎大学BSL-4研究施設について 木村担当 課題提出 <対面授業>
第9回	担当 有川 イントロダクション <対面授業>
第10回	錯体化学(錯イオン)について解説 <対面授業>
第11回	8族遷移金属について(特に不斉触媒や人工光合成について) <対面授業>
第12回	4族遷移金属について(特にポリマーについて) <対面授業>
第13回	11族遷移金属について(特に分子マシンについて) <対面授業>
第14回	9族遷移金属について(特に有機ELについて) <対面授業>

第15回

6族遷移金属について（特に窒素固定について）

有川担当課題提出

< 対面授業 >

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587018101	科目番号 / Course code	05870181
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12921_005		
授業科目名 / Course title	● a13環境と社会運動 / Environment and Social Movements		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	友澤: tomozawa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	友澤教員室: 環439		
担当教員TEL/Tel	友澤: 095-819-2784		
担当教員オフィスアワー/Office hours	個別にメールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	公害・環境問題を環境社会学の観点から考察する。政府、企業、専門家との対立や協力の相互作用のなかでの社会運動の役割について、様々な視点から議論できる知識と素養を養う。長崎県と関係のある環境問題についても触れる。		
授業到達目標/Course goals	公害・環境問題を環境社会学の観点から説明できる(1)。 政府、企業、専門家、市民の対立や協力の相互作用および市民運動の役割について説明できる(5および7)。 長崎県と関係のある環境問題を整理して問題点と解決策を考えることができる(10)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平常点50% + レポート50% = 100%のうち、60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	ニュースや新聞を読むときに、授業で学んだ用語を想起して社会分析を試みる。 < 予習 > 環境問題を取りあげるニュースや新聞記事などに目を通しておくこと(2h) < 復習 > 講義内容および講義資料をもとに復習すること(2h)		
キーワード/Keywords	公害問題、社会的対立・協力、多視点からの社会運動、公共性、水俣病、カネミ油症、原発事故、長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 藤川賢・友澤悠季編, 2023, 『シリーズ環境社会学講座1 なぜ公害は続くのか - 潜在・散在・長期化する被害』新泉社。プリント配布、映像の視聴を行う。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	【実施方法について】原則対面形式で行うが、一部リアルタイムオンライン形式で実施する回がある。詳しくは初回に説明する。初回がリアルタイムオンライン形式になる場合は、前日までにLACS連絡事項で通知するので確認しておくこと。
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容で得た知識を利用し、報道される環境問題を掘り下げて考える習慣をつけてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	総論（１）いま環境はどうなっているか（友澤）【対面】
第2回	総論（２）人間による地球の変形（友澤）【対面】
第3回	日本の環境運動（１）足尾（友澤）【対面】
第4回	日本の環境運動（２）水俣（友澤）【対面】
第5回	日本の環境運動（３）四日市（友澤）【対面】
第6回	日本の環境運動（４）三島・沼津・清水（友澤）【対面】
第7回	「する側」と「される側」の論理（友澤）【対面】
第8回	科学・技術と環境問題（友澤）【対面】
第9回	当事者・行政・企業・市民社会の役割（友澤）【対面】
第10回	「快適な社会」をめぐる模索（友澤）【対面】
第11回	個別事例を学ぶ（１）カネミ油症事件（戸田）【リアルタイムオンライン】
第12回	個別事例を学ぶ（２）じん肺・アスベスト問題（戸田）【リアルタイムオンライン】
第13回	個別事例を学ぶ（３）石木ダム問題（戸田）【リアルタイムオンライン】
第14回	個別事例を学ぶ（４）原発（戸田）【リアルタイムオンライン】
第15回	「市民」として生きる人びとに学ぶ（友澤）
第16回	まとめと最終課題

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587043701	科目番号 / Course code	05870437
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12911_005		
授業科目名 / Course title	● a13生態系と社会 / Ecosystem and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	服部 充 / Hattori Mitsuru, 遠藤 愛子 / ENDO Aiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	服部 充 / Hattori Mitsuru, 遠藤 愛子 / ENDO Aiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	服部: mhattori▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください) 遠藤: endoa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	服部: 環440 遠藤: 環427		
担当教員TEL/Tel	服部: 095-819-2759 遠藤: 095-819-2728		
担当教員オフィスアワー/Office hours	適宜対応しますのでメールにてアポイントメントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生態系、生態系機能、生態系サービスについて一般論として説明した後、生態系サービスについて事例を交えつつ説明をおこなう。 持続的な社会を維持するための経済的な仕組み、政策評価方法、法や制度、地域の取り組みなどについて紹介し、環境問題に関連する対策について説明する。 プレゼンテーション・レポートなどを通じて理解度の確認をおこなう。		
授業到達目標/Course goals	生態系、生態系機能、生態系サービス、社会的な取り組みなどについて、一般論や典型的な事例などを提示しつつ、基礎的なことを学び、生態系が人間社会にとって欠かせない、環境の重要な要素となっていることが説明できる。また、生態系と社会の関係が現代あるいは長崎県の環境問題とどのように深く関わっているか、基礎的なことが説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各教員による。 服部担当分(講義ごとの課題 = 40%、期末レポート = 60%) 遠藤担当分(授業への参加度 = 50%、プレゼンテーション = 50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 次回の講義内容について文献・ウェブ等で各自で調べて事前知識を得る(2h) 復習: 資料等により講義内容について復習する(2h)		
キーワード/Keywords	生態系サービス、環境問題、経済政策		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて指示をおこなう		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、すべて対面方式で実施します。 最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。 その場合は、Lacsで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	生態系は様々な機能を通じて我々の生活に大きく関わっています。ここで学ぶことは初歩的なことではありますが、環境に配慮した社会が推進されていますのでぜひ社会に出たときに活用できるように学んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション、生物とは何か（服部・対面）
2	生態系を形作る生物の役割（1）生物間相互作用（服部・対面）
3	生態系を形作る生物の役割（2）生物の進化メカニズム（服部・オンライン）
4	生態系を形作る生物の役割（3）生物間相互作用が生態系をつなぐ（服部・オンライン）
5	生態系を形作る生物の役割（3）生物多様性創出メカニズム（服部・対面）
6	生態系サービス：人間社会での生物利用（服部・対面）
7	生物が引き起こす環境問題：外来種問題、獣害問題（服部・対面）
8	生態系・生物多様性問題と国内外の法制度（遠藤・対面）
9	生態系・生物多様性問題と国内外の法制度（遠藤・対面）
10	生物多様性と自然資本経営（遠藤・対面）
11	生物多様性と自然資本経営（遠藤・対面）
12	自然資本経営の国内外の取組み（紙・木材、農産物資源）（遠藤・対面）
13	自然資本経営の国外の取組み（遺伝子資源、水資源、水産資源）（遠藤・対面）
14	自然資本経営の国外の取組み（プラスチック）（遠藤・対面）
15	生態系・生物多様性問題に関する長崎県の取組み・課題（遠藤・対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587018901	科目番号 / Course code	05870189
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12941_005		
授業科目名 / Course title	【Online】●a14地域の環境を考える / Community and Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	深見 聡 / Fukami Satoshi, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	深見 聡 / Fukami Satoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	深見 聡 / Fukami Satoshi, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	深見: fukami▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) 黒田: skuroda▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	深見: 環境科学部4階・環438教員室 黒田: 環境科学部4階・環431教員室		
担当教員TEL/Tel	深見: 095-819-2720 黒田: 095-819-2732		
担当教員オフィスアワー/Office hours	深見: 金曜日2時間目 黒田: 木曜日2時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境問題は、人間や自然の相互関係の複雑化にともない多様なものとなっています。それに対して、地域特性に注目した、持続可能な地域づくりのあり方を希求することで、人間と自然の共生を図ろうという各種取り組みに注目が集まっています。それらのなかに、環境に配慮することの必要性を学ぶ「環境教育」や「環境自治」の充実があり、近年特に重要視されるようになりました。そこで本講義では、「環境教育」と「環境自治」をキーワードに掲げ、私たちの生活に身近な長崎における事例や時事問題として関心の高まっている地域の環境問題をピックアップし、その本質に迫ります。		
授業到達目標/Course goals	1. 地域の環境問題を考える上で、「環境教育」や「環境自治」が果たす役割について説明できる。 2. 「環境教育」や「環境自治」の分野における地域調査の方法にふれ、その基本を習得する。 3. 持続可能な地域づくりのあり方について、長崎県内の課題を整理して問題点とその解決策を発表できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レスポンス用紙への記入状況50% (深見担当分) + 講義中に出される小課題への応答50% (黒田担当分) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】各回講義のキーワードをあらかじめ提示するので、キーワードに関する事柄を新聞記事や文献、ウェブ等を通じて前もって調べておくこと(2h)。 【復習】毎回の配布資料を熟読し、取り上げられた具体事例について、自分でもその後を調べる等のフォローアップをおこなうこと(2h)。		
キーワード/Keywords	地域の視点、持続可能な地域づくり、ESD (持続可能な開発のための教育)、観光教育、災害対応、地域再生、地域コミュニティ、環境ガバナンス、環境自治のしくみ、長崎県		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書：使用しない。 教材：適宜プリント等を配布する。 参考書：深見聡『観光と地域-エコツーリズム・世界遺産観光の現場から』（南方新社、2019年） 渡邊貴史・黒田暁編『地域のレジリエンスを高める環境科学』（九州大学出版会、2023年）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則としてリアルタイムオンライン方式（前半）と対面方式（後半）でおこないます。状況によっては変更する回があるかもしれませんが、その場合は遅くとも前日までにLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	長崎県内や九州各地を含むローカルな事例に学ぶことを通して、自地域や他地域、ひいては国内外へとグローバルな課題へと関心喚起につながることを目指します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	深見 聡/NPO法人での実務経験/NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会を設立し、代表として観光やまちづくり、環境教育の実務経験を有する教員が、理論と実際の両面から、エコツーリズムの現状等について解説する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	I. オリエンテーション / 環境問題の多様化 （オンライン）：担当 深見聡・黒田暁
第2回	II. 地域の環境と「環境教育」 環境教育の歴史-公害教育から国際理解教育へ- （オンライン）：担当 深見聡
第3回	環境教育のすすめ（1）「科学リテラシー」「メディアリテラシー」に基づいた価値判断学習 （オンライン）：担当 深見聡
第4回	環境教育のすすめ（2）持続可能な開発のための教育（ESD）とは （オンライン）：担当 深見聡
第5回	環境教育のすすめ（3）環境教育と海外協力支援 - インドネシアの事例から - （オンライン）：担当 深見聡
第6回	環境教育のすすめ（4）海外の環境教育事情（ドイツ・米国・韓国・ボリビア） （オンライン）：担当 深見聡
第7回	環境教育と観光教育（1）世界遺産は環境保全に役立っているのか？ （オンライン）：担当 深見聡
第8回	環境教育と観光教育（2）世界遺産の現場から-屋久島、長崎の事例比較- （オンライン）：担当 深見聡
第9回	III. 地域の環境と「環境自治」 災害と地域復興の現場（1）震災による地域の「被害」とは （対面）：担当 黒田暁
第10回	災害と地域復興の現場（2）災害社会を考える （対面）：担当 黒田暁
第11回	環境と地域のコミュニティ（1）「地域」というまとまり （対面）：担当 黒田暁
第12回	環境と地域のコミュニティ（2）自治はつらいよ？ （対面）：担当 黒田暁
第13回	環境ガバナンスのしくみ（1）環境自治の実態と課題 （対面）：担当 黒田暁
第14回	環境ガバナンスのしくみ（2）地域の持続性のゆくえ （対面）：担当 黒田暁
第15回	環境と地域の関係のあり方とは （対面）：担当 黒田暁
第16回	まとめ （対面）：担当 黒田暁

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587047301	科目番号 / Course code	05870473
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12961_005		
授業科目名 / Course title	● a14資源管理論 / Introduction to Resource Management		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-hamasaki▲nagasaki-u.ac.jp (濱崎) (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) y-shigetomi▲nagasaki-u.ac.jp (重富) (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環4 4 9 (濱崎) 環4 5 2 (重富)		
担当教員TEL/Tel	内線 2742 (濱崎) 内線 2785 (重富)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜16:00~17:00 (濱崎) 事前にアポイントをとってもらえれば、適宜調整します (重富)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	水資源、希少金属資源(レアメタル)、エネルギー資源、資源の循環利用など、さまざまな資源がもつ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみと管理について、実例を挙げながら概説する。		
授業到達目標/Course goals	さまざまな資源が持つ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみが理解できる。また、資源管理の主体となる組織の役割や異なる利害の調整の方法が理解できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	濱崎・重富ともに、レスポンスシート(20%)、プレゼンやディスカッションなどへの参加意欲・貢献度(20%)、グループ発表(60%)を総合的に評価する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 前回授業資料を読んで内容のおさらいをしてくる(1h) 復習: 授業内容を反芻しつつ、グループワークでの充実した議論ができるよう文献・情報の収集を行う(3h)		
キーワード/Keywords	グローバル社会, 資源管理, 利害関係, 持続可能な開発, エネルギー資源, 循環型社会		
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は指定せず, 教員作成の資料に基づいて授業を進める。参考文献は毎回の授業で紹介する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本講義は対面での授業を基本とします
学生へのメッセージ/Message for students	現在と将来の資源を有効に利用するためのしくみを学びましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション（授業のねらい，達成目標，成績評価，グループワークなど） （対面）：担当 濱崎宏則
第2回	資源管理とは：経済発展（資源利用）と環境保全（資源保護）のせめぎあい グループワーク （対面）：担当 濱崎宏則
第3回	水資源の管理を事例とした資源の利用と保全：政治的観点から （対面）：担当 濱崎宏則
第4回	プラスチックの循環利用 グループワーク （対面）：担当 濱崎宏則
第5回	資源管理の難しさを体感する貿易ゲーム （対面）：担当 濱崎宏則
第6回	貿易ゲームの振り返り，グループワーク （対面）：担当 濱崎宏則
第7回	循環型社会 （対面）：担当 馬騰
第8回	グループワーク （対面）：担当 馬騰
第9回	エネルギー問題 （対面）：担当 馬騰
第10回	グループワーク （対面）：担当 馬騰
第11回	希少金属資源 （対面）：担当 馬騰
第12回	グループワーク 最終グループ発表準備 （対面）：担当 馬騰
第13回	グループ発表 （対面）：担当 濱崎宏則・馬騰
第14回	グループ発表 （対面）：担当 濱崎宏則・馬騰
第15回	グループ発表の講評 授業総括—資源を持続可能な方法で利用するためには （対面）：担当 濱崎宏則・馬騰

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593001801	科目番号 / Course code	05930018
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●a15研究ベース学習 : アカデミックスキルズとフィールド情報学の技法 / Research Based Learning : Academic Skills and Field Informatics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel	tatsuji ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学は新たな知を創造する場である。大学において、知の創造の典型的な営みは論文の生産である。本テーマで取り上げる「研究ベース学習」は、プロジェクトベース学習(PBL)を念頭に置き、学部学生が研究という知の創造活動を体験することを目的に設計したアクティブラーニングである。本テーマでは、科学的方法をプロジェクトベースで体験することを通して、研究文化の学習観や技法を体得し、主体的に学術研究に取り組むアクティブラーナーになるための「学びのOS」(スキルセット、マインドセット、ソーシャルキャピタル)を習得する。 研究ベース学習 として本科目では、学術研究において必要不可欠な技能であるアカデミックスキルを獲得する。具体的には、「学術文献の読み方・書き方」「アイデアの整理と拡張法」「図表の見方・作り方」「引用の方法」「ポスターの作り方」などのアカデミックスキルを実践的に習得する。さらに、フィールドの調査・設計の方法としてフィールド情報学の技法を獲得する。具体的には「エスノグラフィ」「ケースライティング」「ワークショップデザイン」「アウトリーチコミュニケーション」などの方法論を習得する。		
授業到達目標/Course goals	・学分野・領域を超えて活用できるアカデミックスキルを獲得する。 ・他者との協働により自身のアカデミックスキルを高めることができる。 ・フィールド情報学の技法を説明することができる。 ・大学で学術研究を遂行するための学習観を身に付ける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・各課題の達成度 (30%) ・授業への取り組みと状況 (40%) ・最終課題 (30%) を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：予め提示する資料に基づき、ワークを行う（2h）。 事後学習：授業での学びをもとに課題に取り組む（2h）。
キーワード/Keywords	研究ベース学習 アカデミックスキル フィールド情報学 学術研究 学びのOS
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、資料を配付します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	国内の大学で、研究ベース学習に似た実践は、京都大学では「学術研究事始め」、東京大学では「科学の技法」などとして、すでに実施されています。本テーマでは、長崎大学の学生さんと共に、長崎大学ならではの研究ベース学習を創出、実践し、皆さんが主体的に学術研究に取り組むアクティブラーナーになるための「学びのOS」を習得します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	研究ベース学習とは
第2回	アカデミックスキルの習得：「学術論文とは何か」
第3回	アカデミックスキルの習得：「学術論文の書き方・読み方」
第4回	アカデミックスキルの習得：「引用の方法」「伝わる文章の書き方」
第5回	アカデミックスキルの習得：「アイデアの整理と拡張法」
第6回	アカデミックスキルの習得：「図表の見方・作り方」「メールの書き方」
第7回	アカデミックスキルの習得：「レジュメの作り方」「図書館の使い方」
第8回	アカデミックスキルの習得：「プレゼンの方法」「ポスターの作成法」
第9回	アカデミックスキルの習得：「社会調査の基礎」
第10回	フィールド情報学の技法：「エスノグラフィ」
第11回	フィールド情報学の技法：「エスノグラフィ」
第12回	フィールド情報学の技法：「ケースライティング」
第13回	フィールド情報学の技法：「ヒューマンセンシング」
第14回	フィールド情報学の技法：「ワークショップデザイン」「インクルーシブデザイン」
第15回	フィールド情報学の技法：「アウトリーチコミュニケーション」
第16回	本授業のまとめ

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593001901	科目番号 / Course code	05930019
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●a15研究ベース学習 : 科学的方法の体験 / Research Based Learning : Experience of Scientific Method		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel	tatsuji▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学は新たな知を創造する場である。大学において、知の創造の典型的な営みは論文の生産である。本テーマで取り上げる「研究ベース学習」は、プロジェクトベース学習(PBL)を念頭に置き、学部学生が研究という知識創造活動を体験することを目的に設計したアクティブラーニングである。本テーマでは、科学的方法をプロジェクトベースで体験することを通して、研究文化の学習観や技法を体得し、主体的に学術研究に取り組むアクティブラーナーになるための「学びのOS」(スキルセット、マインドセット、ソーシャルキャピタル)を習得する。 研究ベース学習 として本科目では、論文の生産プロセスと論文の修正及び成果の発表を体験する。まず、研究ベース学習 で獲得したアカデミックスキルやフィールド情報学の技法を活用し、「問いの設定、対象の選定、データ収集・分析、成果のまとめ」という論文の生産プロセスを遂行する。さらに、学生同士でのピアレビューでの論文の査読・修正、さらに研究成果のポスター発表も経験し、科学的方法のプロセス体得する。		
授業到達目標/Course goals	・科学的方法のプロセスを理解する。 ・科学的な技法や作法に則った学術論文やポスターを生産することができる。 ・他者からの査読のフィードバックを論文修正に反映させることができる。 ・他者からの発表に対するフィードバックをポスターの修正に反映させることができる。 ・大学で主体的に学術研究に取り組み、自らを変革していけるアクティブラーナーになるための学習観を身に付ける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・各課題の達成度 (30%) ・授業への取り組みと成果 (40%) ・最終課題 (30%) を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：予め提示する課題に基づき、ワークを行う（2h）。 事後学習：授業内容に基づいた課題に取り組む（2h）。
キーワード/Keywords	研究ベース学習 プロジェクト型学習 科学的方法 省察 アクティブラーナー
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、資料を配付します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	国内の大学で、研究ベース学習に似た実践は、京都大学では「学術研究事始め」、東京大学では「科学の技法」などとして、すでに実施されています。本テーマでは、長崎大学の学生さんと共に、長崎大学ならではの研究ベース学習を創出、実践し、皆さんが主体的に学術研究に取り組むアクティブラーナーになるための「学びのOS」を習得します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	フィールド実践の設計とデータの収集・分析（Basic）
第2回	フィールド実践の設計とデータの収集・分析（Basic）
第3回	ピアレビューによる論文の査読と修正（Basic）
第4回	ピアレビューによる論文の査読と修正（Basic）
第5回	研究成果のポスター発表（Basic）
第6回	研究成果のポスター発表（Basic）
第7回	科学的方法（Basic）の省察：スキルや技法の検証
第8回	科学的方法（Basic）の省察：科学的方法の検証
第9回	フィールド実践の設計とデータ収集・分析（Advanced）
第10回	フィールド実践の設計とデータ収集・分析（Advanced）
第11回	ピアレビューによる論文の査読と修正（Advanced）
第12回	ピアレビューによる論文の査読と修正（Advanced）
第13回	研究成果のポスター発表（Advanced）
第14回	研究成果のポスター発表（Advanced）
第15回	科学的方法（Advanced）の省察：スキルや技法の検証
第16回	科学的方法（Advanced）の省察：科学的方法の検証